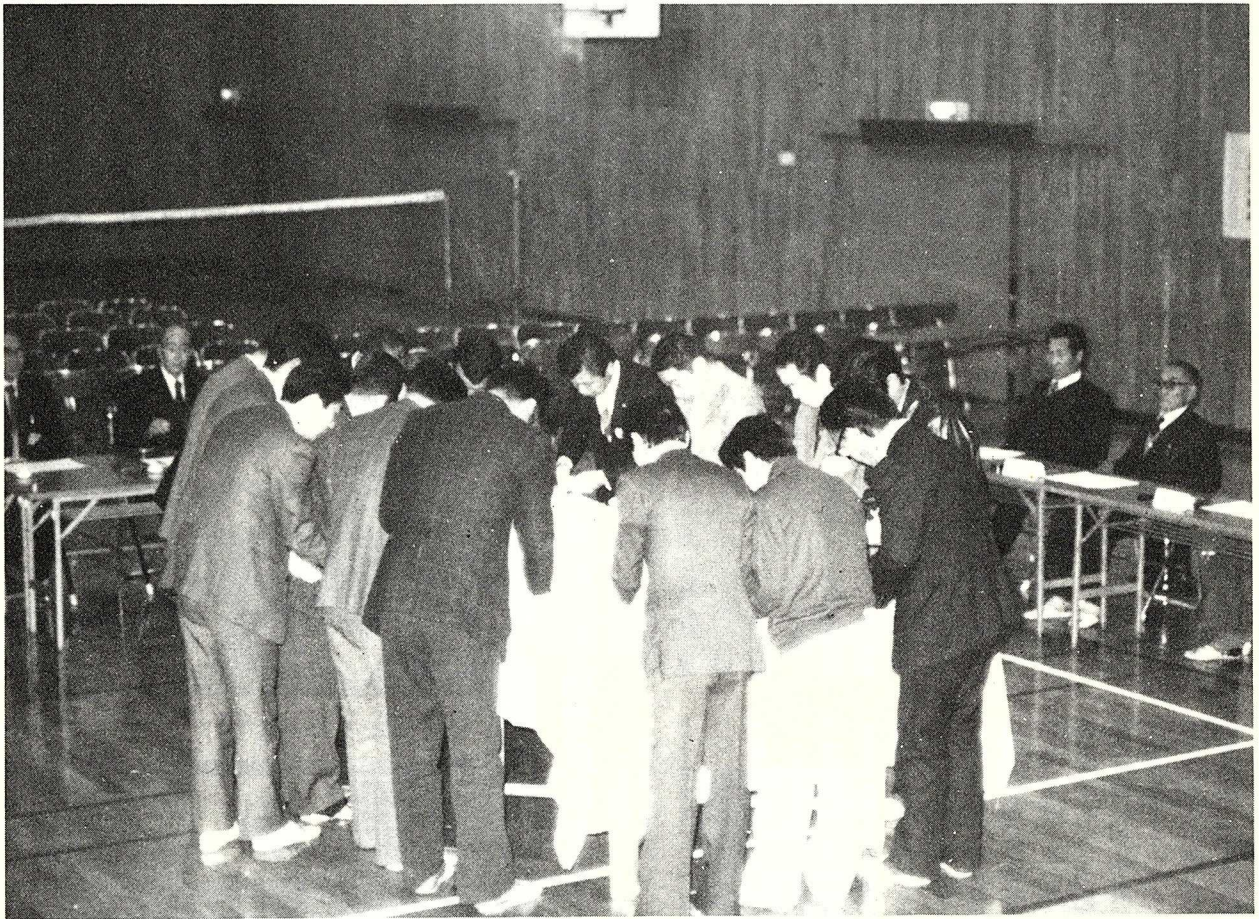


広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,424人 (減2)
男	4,510人 (0)
女	4,914人 (減2)
世帯数	3,005世帯 (減5)
出生	12人
死亡	9人
転入	25人
転出	30人
(54年12月末日現在)	

()内は前月との増減



【町長選挙開票風景より・町民会館にて】

町長に池永輝昭氏が当選 (投票率低調の町長選70・47%)

—— 町再建の自主再建へ ——

55年
2月
 №.205号

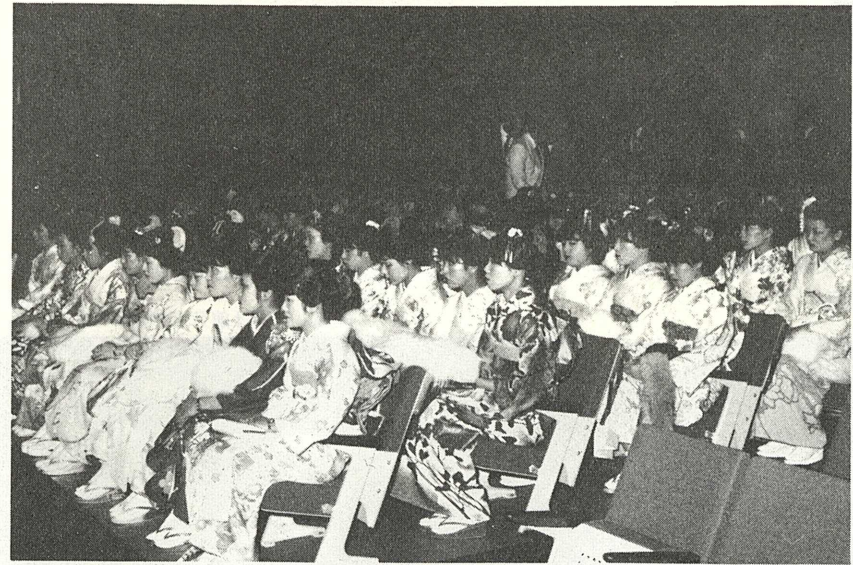
任期満了に伴う町長選挙は1月13日投票された。投票は町内3ヵ所の投票所で午前7時から始まり、今回は3期目を目指す現職の池永輝昭氏と会社員の山下譲治氏の一騎打ちとなり、昭和39年の町長選挙以来16年ぶりの選挙となったが、あいにくの雨と重なり有権者の出足は鈍く、投票率も前回39年(93%)を下回る70・47%と低調な結果となりました。

開票は14日午前7時から町民会館で行われ、池永氏が3度目の当選をした。【開票結果
 ◎池永輝昭 3,931票、山下譲治 754票、当日有権者数 6,894、投票総数 4,858、投票率70・47% (男67・12%、女73・36%)】

振りそで姿で華かに

百四十五人が新成人

「成人の日」の一月十五日、赤池町で百四十五人の新成人が大人の仲間入りをしました。
 同日は気温も低く、時折、小雪もちらつく天気でしたが、若い男女は元気に会場にかけつけ、大人への喜びと不安を胸に、自覚を新たにしていた。



【振りそで姿で会場も華かに・同和対策中央研修所】



『記念講演に川向秀武氏を迎える』

午前十時三十分より、町同和対策中央研修所で式典が行われ、男子七十二人、女子七十三人の百四十五人が新成人として大人の仲間入りをしました。

昨年より九人多く、男子は背広、女子は晴れ着がほとんどで、会場は華かな色に包まれた中、式典が行われ、午前十一時より、福岡教育大学助教授、川向秀武氏を迎え「基本的人権と同和問題」をテーマに約一時間、記念講演が行われた。

このあと、会場を町民会館ホールに移し、記念撮影をしたのち、立食パーティーでは、前年度成人者のウィッツ(五人)、フィスト

(六人)の二グループの皆さんにより生演奏が約一時間行われ、楽しいひとときのうち、新しい仲間誕生を祝いました。

これからは二十歳になり、大人の仲間入りとともに、未成年者のときの法律上の保護はなくなり、多くの権利を手に入れますが、権利を主張するだけでなく、成人としての義務をしっかりと果たし、自分の責任と判断で行動されることが望まれます。

- 成人者の地区別数
- 上野地区四十五人(男27女17)
- 市場地区二十八人(男12女16)
- 赤池地区七十三人(男33女40)

☆ 今月のこよみと行事

和名 如月(きさらぎ)
 立春がすぎたのに寒い、とばかりに衣服を重ねる。そのため二月を着更衣という。

- 1日(金) 心配ごと相談日(セシタ)
- 3日(日) 成人病予防週間
- 3日(日) 節分 豆まき
- 初午
- 4日(月) 立春 寒あけ
- 7日(木) 心配ごと相談日(セシタ)
- 8日(金) 針供養 こと始め
- 11日(月) 建国記念日
- 文化勲章制度創設12
- 14日(木) 聖パレンタインデー
- 15日(金) 所得税の確定申告受付開始
- 16日(土) 旧正月
- 17日(日) 心配ごと相談日(セシタ)
- 19日(火) 雨水
- 20日(水) 第一回普通選挙施行(昭3)
- 22日(金) 旧七草
- 24日(日) 日本社会党結成(明39)
- 26日(火) 二・二六事件起る(昭1)
- 27日(水) 心配ごと相談日(セシタ)
- 28日(木) 全国火災予防運動はじまる

▼人に機会が無いのではない
 機会を見捨てているのである▲

下田川4カ町消防出初め式



【堂々の規律ある整列風景より・糸田小学校グラウンド】

町消防団員49人が表彰(県知事表彰など)

新春を飾る、下田川四カ町消防団(赤池、金田、方城、糸田)の連合出初め式が一月六日午前九時三十分から糸田町糸田小学校グラウンドで行われ、四カ町消防団員四百六十五人が参加して開かれた。
 本町より消防団員百五十人、金田町百十人、方城町百五人、糸田町百人の出動で、小雨の中、同校グラウンドを各町分団ごとに行進、県消防協会長、町長などの観閲を受けた。

式典では、永年消防活動に力を尽した優良団員等の表彰が行われ、本町消防団員より県知事表彰など四十九人が表彰されました。
 表彰者は、次のとおり。

- 木村一夫(部長) 第二分団
- 皆川克己(部長) 第二分団
- 大森正信(部長) 第二分団
- 早谷昭生(班長) 第二分団
- 【赤池町長表彰】8人
- 長尾廣正(団員) 第一分団
- 日高輝水(班長) 第二分団
- 有吉憲一(班長) 第三分団
- 白川鉄夫(団員) 第四分団
- 浦田道義(部長) 第五分団
- 小松繁春(団員) 第六分団
- 山尾繁樹(団員) 本部分団
- 宮崎春美(団員) 本部分団
- 【田川郡支部長表彰】2人
- 山形利明(団員) 第四分団
- 太田 淳(分団長) 第五分団
- 【優良消防団員表彰】7人
- 矢山丑彦(団員) 第一分団
- 八隅憲幸(団員) 第二分団
- 太田 旭(班長) 第三分団
- 植木藤吉(副分団長) 第四分団
- 武末 豊(班長) 第五分団
- 平元光年(班長) 第六分団
- 日高一雄(班長) 本部分団
- 【永年勤続消防団員表彰】24人
- 【三十年】
- 田口孝夫(本部長) 本部
- 永末利貞(部長) 第一分団
- 柴田荒喜(部長) 第五分団
- 武末義信(班長) 第五分団
- 【二十五年】
- 立花重己(班長) 第一分団
- 立花清文(団員) 第二分団
- 浦田拓義(班長) 第五分団
- 【二十年】

暮らしの中の火災原因 くれぐれもご用心を

すべてを灰にしてしまう火災…
 …この原因の七七八割はちよつとした不注意からなのです。
 いうならば、日々の生活の中に「出火原因」は無数にころがっているといえましよう。お風呂の消し忘れ、こたつやアイロン、ドライヤーなど電気器具のつけっぱなし、たばこの火の不始末、石油ストーブを点火したままの給油、ベッジン、スプレーなどの火気への接近など、数えあげたらきりがなほほどです。
 特に、いたずら盛りの幼い子供のある家庭では「火遊び」にも十分注意してください。
 幼い子供にとっては、マッチやライターのパツとした炎はひとつの「魅力」としてうつるようです。

お母さんが家事に追われている時など、こたつの上にマッチやライターが置いてあると、子供は、つい、「日ごろの夢」をかなえたくなって、いたずらする場合がありますから気を付けましよう。
 マッチやライターなど、火の元になるものは、ふだんから子供の手の届くところには絶対置かないように注意しましよう。
 特に二月は、空気が非常に乾燥していて強い風が吹くことも多く、そのうえ暖房器具を使う時期でもあります。ありがたくなれないことに、二月はまさに三拍子そろった「火災シーズン」といえるでしょう。
 二月二十九日から春の全国火災予防運動が行われます。火の元にはくれぐれもご用心を—。

- 【十年】
- 水永 雄(団員) 第二分団
- 奥永優一(団員) 第三分団
- 池田正光(団員) 第三分団
- 日高一雄(班長) 本部分団
- 河野進一(班長) 本部分団
- 山尾繁樹(団員) 本部分団
- 宮崎春美(団員) 本部分団
- 敬称略 —